



事業実施内容

柑橘輸出世界一位を誇るトルコ共和国で、大手青果物輸出企業の加工工場での現地加工工程の調査を行った。

弊社製品「プラズマボックス」を使った、3か月の常温保存試験を実施し、現地企業からの装置の評価を得た。

トルコ柑橘を使った
実証実験の様子



トルコ青果物輸出企業とMOU締結



事業成果

トルコ共和国ハタイ県の大手青果物輸出企業と2022年9月MOUを締結し、現地調査を通じて、現地企業の加工工程の調査を実施した。

事業の進捗

2023年も国の補助事業で継続した、事業を実施し、現地の加工工程をあまり変えなくても、装置導入が可能な「プラズマパレット」の試作機を完成させた。
2023年12月には、2回目のMOUを締結して、現地にあった「プラズマパレット」を製作し、トルコに国際特許出願を行った。

2023年1月-4月、2024年1月-4月には2回にわたり、現地柑橘を使った実証実験を実施し、アンカラ大学で柑橘分析を実施し、鮮度保持効果を示すことに成功した。
現在は、トルコ→日本間に柑橘を輸送するプロジェクトを進行中。

2023年2月6日現地を震源地とする大地震が発生し、5万人以上の方が亡くなりました。
現地企業の5階建て社屋も全壊した。
被災した地域ではトルコ全土の7割の柑橘生産を行っており、弊社が継続してトルコで活動する事は、日本の技術で被災地復興に大きく貢献することに繋がるため、現地向けの装置完成に向けて産学連携して全精力を注いでいる。